

News Release

2019年1月24日
N I T E (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

5年で2倍以上に！リチウムイオンバッテリー搭載製品の事故 ～モバイルバッテリーは購入時にPSEマークを確認しましょう～

1. 事故の発生状況

北海道では、リチウムイオンバッテリー搭載製品の事故は、2013年度から2017年度までの5年間に合計20件ありました。

(1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数 (2013～2017年度)

発生年度	合計
2013年度	2
2014年度	6
2015年度	2
2016年度	5
2017年度	5
合 計	20

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数 (2013～2017年度) ※1

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	1
	軽傷	1
物的被害	拡大被害	14
	製品破損	4
被害なし		0
合 計		20

(※1) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) モバイルバッテリー

○2014年6月（北海道、拡大被害、使用期間約4か月）

事故内容：充電中のモバイルバッテリーから火が出て、周辺を焼損した。

事故原因：内蔵バッテリー（リチウムイオン）に不具合品が混入したため、充電中に内部短絡が生じ、異常発熱して焼損したものと推定される。

(2) リチウムポリマーバッテリー

○2014年7月（北海道、拡大被害、使用期間約15日）

事故内容：充電中のリチウムポリマーバッテリーから発煙し、周辺を焼損した。

事故原因：リチウムポリマーバッテリーを別に購入した充電器の鉛充電モードに設定して充電したことから、バッテリーが過充電状態となり、異常発熱して焼損したものと推定される。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者：大井、下川

電話：011-709-2324